

記入例

(教育研究業績書・様式 2-2)

教育研究業績書				
氏名 立命太郎				
教育上の能力に関する事項	年月日	概要		
1 教育方法の実践例	2000年度	大学 学部で開講した基礎専門科目「 」において、適宜コミュニケーション・パ-を使って、学生から授業の感想・要望を聴取し、授業改善に生かした。また、疑問点等は、次回の授業で回答するなど、学生との意思疎通を図った。		
2 作成した教科書、教材	2000年12月	共著『機械工作法』(立命太郎、衣笠次郎、草津三郎の共著、出版、「旋盤」を執筆、pp.25～32)		
3 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価	2001年4月 2003年4月	「 科目」は、 大学において、先進的な教育実践であるとの評価を受け、2000年度「先進的教育実践支援制度」により支援金を得た。 2002年度における教育実践が先進的で有効であるとの評価を得て、大学の”Teacher of the Year”に選ばれた。		
4 実務家教員についての特記事項				
5 その他				
職務上の実績に関する事項	年月日	概要		
1 資格、免許	1992年8月	危険物取扱主任者		
2 特許等	1998年1月	特許第 118XXXX 号「高加圧接合によるアルミ加工」(立命太郎、草津三郎の共同出願)		
3 実務家教員についての特記事項				
4 その他				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の区別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 『書名』 2 "Book Title" 3 『書名』 4 『書名』	単著 単著 編著 共著	19XX年X月 19XX年X月 19XX年X月 19XX年X月	出版 大学出版 出版 出版	[博士学位論文] 立命太郎、A氏およびB氏の共著ないし共編、担当部分、pp. ~
共著ないし共編は、当該者が「共著者」「共編者」として明示されているものに限る。また、著書であっても当該者が「共著者」「共編者」として明示されていない場合は、論文として記入する。				
(学術論文) 1 「論文名」 2 "Article" 3 「論文名」	単著 単著 共著	19XX年X月 19XX年X月 19XX年X月	『発表誌名』、 発行機関名 "journal"、 publisher 『発表誌名』、 発行機関名	巻号、pp. ~ [博士学位論文]、Vol. No. 、pp. ~ C氏、立命太郎およびD氏の共著、巻号、担当部分、pp. ~
(その他) [翻訳] 1 (原著者名)『書名』 2 (原著者名)『書名』	単独訳 共同訳	19XX年X月 19XX年X月	出版 書店	E氏、F氏および立命太郎の共同訳、担当部分、pp. ~

3 (原著者名)「論文名」	共同訳	19XX年X月	『発表誌名』、 発行機関名	G氏、H氏および立命太郎の共同訳、 巻号、pp. ~
[調査報告]				
1 『調査テーマ』	単独調査	19XX年X月	『発表誌名』、 発行機関名	巻号、pp. ~
2 『調査テーマ』	共同調査	19XX年X月	『発表誌名』、 発行機関名	立命太郎、I氏およびJ氏の共同調査、 巻号、pp. ~
3				
[学会報告]				
(国際学会・査読あり)				
1 「報告テーマ」	単独報告	19XX年X月	学会名	大会名称、開催地
2 「報告テーマ」	共同報告	19XX年X月	学会名	K氏、立命太郎およびL氏の共同報告、 大会名称、開催地
(国際学会・査読なし)				
1				
2				
(国内学会・査読あり)				
1				
2				
(国内学会・査読なし)				
1				
2				
[その他]				上記以外で業績として評価されるものを記載